

# 令和2年度 第11回 直江津区地域協議会

## 次 第

日時：令和2年11月17日（火）**18:00 - 20:00**

会場：レインボーセンター 多目的ホール

1 開 会 **18:00 - 18:02**

2 会長あいさつ **18:02 - 18:05**

3 議 題 **18:05 - 19:55**

### 【報告事項】

- ・ 古城小学校の学習環境の改善に向けた在り方・方策の検討状況について

### 【諮問事項】

- ・ 直江津区の小学校の統合について

### 【協議事項】

- ・ 地域活動支援事業について

4 その他 **19:55 - 20:00**

5 閉 会

## 古城小学校の学習環境の改善に向けた在り方・方策の検討状況

古城小学校の在り方及び環境改善の方策について、保護者や地域、関係者との検討経過及び今後予定する取組を、次のとおり報告します。

今後の取組に際しては、児童や保護者が不安なく、また、地域の理解・協力を得ながら進めていけるよう、引き続き、学校 PTA や後援会、関係町内会と連携を図ってまいります。

### 1 検討経過・今後の予定

#### (1) 保護者との検討

年度	主な内容
平成 29、 30 年度	・学校の在り方について、保護者実施のアンケートなどを基に検討
令和元年度	・市教育長が訪問し、学校教育の方向性などを説明して意見交換 ・直江津小学校の授業を見学
令和 2 年度	・保育園、幼稚園の保護者を含めた意見交換を実施 ・教育委員会から在り方・方策を提示して賛同

#### (2) 地域・関係者への説明等（令和 2 年度）

月	主な内容
9 月	・古城小学校関係町内会への説明、地域説明会の開催 ・古城小学校学校運営協議会への説明
10 月	・直江津小学校学校運営協議会への説明 ・直江津小学校保護者説明会の開催 ・直江津小学校後援会への説明 ・直江津区地域協議会への説明（10 月 20 日）
11 月	・学校 PTA、後援会、関係町内会の代表者と協議 （最新動向や今後の連携した取組を確認） ・直江津区地域協議会への説明（11 月 17 日）、諮問・答申

#### (3) 今後の取組（地域協議会からの答申後）

- 学校間の連携促進に次のとおり取り組み、一体感の醸成と円滑な移行を図ります。
  - ▶R3 学習活動等における児童の交流
  - ▶安全な通学方法の検討・確保
  - ▶PTA 組織・後援会組織における連携・調整 など
- 古城小学校の後援会、関係町内会等と連携し、地域への継続的な周知と理解・協力の更なる促進を図るほか、学校の閉校を記念する主体的な取組を支援します。

### 2 今後の取組における参考事例

（板倉区の学校統合における学校間の連携・地域協力の R2 取組状況）

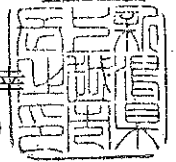
- 各学校（針小・宮嶋小・山部小）では、コロナ禍で児童間の直接の交流が制限される中、オンラインを活用した交流（自己紹介、学習発表、作品紹介等）を進めており、友達づくりや不安の解消などにつながっています。
- 地域を挙げて閉校を記念するため、各学校の後援会や町内会、PTA で実行委員会を組織し、市も関わりながら、記念事業（記念碑建立、記録誌制作、思い出を語る会など）が計画・実施されています。



上教総第5322号  
令和2年11月11日

直江津区地域協議会  
会長 中澤武志 様

上越市長 村山秀幸  
(教育委員会教育総務課)



直江津区の小学校の統合について (諮問)

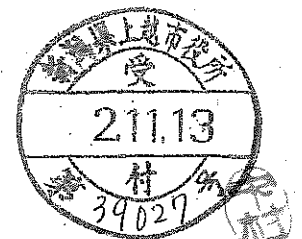
下記の事項について、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第2項の規定により意見を求めます。

記

諮問第54号 直江津区の小学校の統合について  
※ 諮問内容については、別紙のとおり

[諮問理由]

古城小学校の学習環境の改善に向けて、同校の保護者と意見交換を重ねるとともに、地域住民等の意向を把握するなど検討を行った結果、直江津小学校との統合により複式学級を早期に解消する必要があると判断したことから、当該統合に関し、直江津区の住民の生活に及ぼす影響という観点から、意見を求めるもの



別紙

諮 問 内 容

現況	諮問内容
<p>1 設置 学校教育法（昭和22年法律第26号）第38条及び第49条の規定に基づき、上越市立小学校を設置する。</p> <p>2 名称及び位置 上越市立古城小学校（上越市港町二丁目16番1号）</p>	<p>1 廃止予定日 令和4年3月31日 （同年4月1日付けで上越市立直江津小学校に編入統合）</p>

※ 学校の状況等については参考資料1のとおり、位置図については参考資料2のとおり

参考資料 1

学校の状況等

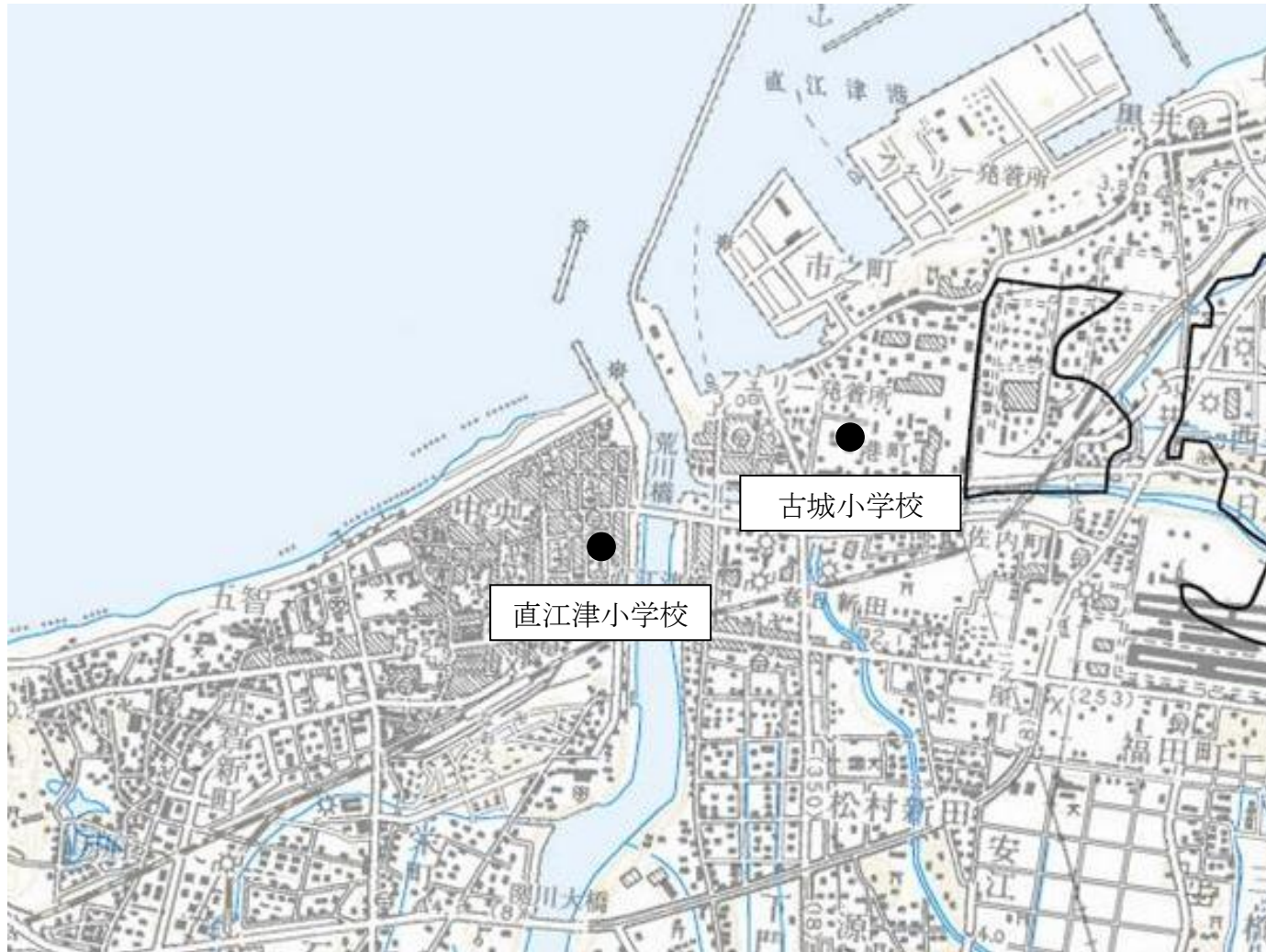
○ 建物の概要

項目	古城小学校	(参考) 直江津小学校
敷地面積	17,429 m <sup>2</sup>	13,886 m <sup>2</sup>
校舎延床面積	2,479 m <sup>2</sup>	3,973 m <sup>2</sup>
屋内運動場面積	771 m <sup>2</sup>	922 m <sup>2</sup>
屋外運動場面積	7,835 m <sup>2</sup>	11,592 m <sup>2</sup>
建物構造	鉄筋コンクリート造 3 階建	鉄筋コンクリート造 3 階建
建築年月	昭和 51 年 8 月	平成 19 年 11 月

○ 児童数の推移（見込み） ※網掛け・下線は複式相当の学級。特別支援学級の児童数を含む人数

学校名	古城小学校							(参考) 直江津小学校							(参考) 古城小学校・直江津小学校の合計						
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	4	5	6	計
2年度	3	0	<u>5</u>	<u>1</u>	<u>5</u>	<u>3</u>	17	22	17	30	18	25	26	138	25	17	35	19	30	29	155
3年度	6	<u>3</u>	0	<u>5</u>	<u>1</u>	<u>5</u>	20	15	22	17	30	18	25	127	21	25	17	35	19	30	147
4年度	4	<u>6</u>	<u>3</u>	0	<u>5</u>	<u>1</u>	19	20	15	22	17	30	18	122	24	21	25	17	35	19	141
5年度	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>6</u>	<u>3</u>	0	5	19	12	20	15	22	17	30	116	13	24	21	25	17	35	135
6年度	6	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>6</u>	<u>3</u>	0	20	24	12	20	15	22	17	110	30	13	24	21	25	17	130
7年度	5	<u>6</u>	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>6</u>	3	25	9	24	12	20	15	22	102	14	30	13	24	21	25	127
8年度	4	<u>5</u>	<u>6</u>	<u>1</u>	<u>4</u>	6	26	14	9	24	12	20	15	94	18	14	30	13	24	21	120

学校の位置図



## 令和 2 年度地域活動支援事業を活用した事業

No.	事業名・【団体名】	内 容	採 択 額 (単位：千円)
1	クリーンナップ上越 i n 五智事業 【ひまわり會】	海岸線における環境美化のため、各種団体の協力を得て、ひまわり、スイセンなどを植え育てる。	5 2 8
2	五智公園の整備、有効活用支援事業 【五智公園を育てる会】	五智公園の価値や魅力を一層高めるために、植物の保護・育成、植物紹介パネルの展示等を行う。	3 8 7
3	直江津地区高齢者いきいき支援事業 【直江津地区町内会長協議会】	町内会館等を会場にして、スカットボールを楽しむことで、健康維持と世代間交流等を図る。	6 6 0
4	直江津駅前環境美化推進事業 【我がまちを愛する会】	直江津駅北側に、プランターに植えた季節の花を設置し管理するほか、環境美化活動を行う。	7 3
5	「米作り体験」事業 【新光町 3 丁目町内会米作り体験実行委員会】	休耕田を活用し、地域の子どもたちを対象に米作り体験や餅つき体験等を行う。	1 2 8
6	天王川クリーンナップ大作戦事業 【ライオン像の建物をまちづくりに活かす会】	直江津の重要な水辺空間である天王川を、地域住民で清掃し、まちづくり・環境意識の向上を図る。	1 3 2
7	「直江津写真フェア」事業 【上越写真連盟】	直江津の魅力を発信することを目的として、写真コンテスト、写真愛好者の作品展示を行う。	4 9 0
8	鉄道の町「直江津」発信事業 【直江津鉄道振興会】	直江津が鉄道の町であることを再確認し、次の世代に語り継いでいく機会とする講演会を行う。	2 1 0
9	直江津アートプロジェクト事業 【くらしの美術館実行委員会準備会】	アートによる地域活性化を目的に、アーティストと地域住民が協働してアート作品制作を行う。	3, 1 4 6
10	〈直江津の歴史・食・人をつなぎ紡ぐ〉事業 【まちおこし直江津】	「福永十三郎」の遺徳を偲ぶ四十物祭を行う。歴史や文化を継承するため、紙芝居を作成する。	1, 1 6 9
11	ブルーライト・なおえつプロジェクト事業 【直江津まちづくり活性化協議会】	直江津駅の自由通路にブルーライトのイルミネーションとのぼり旗を設置し、魅力的な空間を作る。	1, 0 8 9
12	三八朝市活性化プロジェクト BASE38 事業 【三八朝市周辺まちづくり協議会】	三八朝市周辺を活性化するため、頸城運送倉庫を活用したイベントを開催し住民交流の場を創造する。 (都合により中止)	1, 6 8 8

## 直江津アートプロジェクト事業進捗報告

くらしの美術館実行委員会準備会

### 【事業内容】

無印良品の直江津 SC 出店を機に、地域みなさんと「100年後の街の風景を描く」という発想で上越市での街づくりに参画し、5年構想で「くらしの美術館（仮称）」の立ち上げを目指す。その実行組織として「くらしの美術館 実行委員会」準備会を立ち上げ、地域の人と芸術家の協働による地域調査や作品制作によるコミュニティづくりを行う。

令和2年度の活動「見えないふたり：遠隔の共創」→3つの異なる「遠隔の共創」に変更  
理由：より多くの地域の方の参加や異なる形での取組を実施するため  
下記の3つの取組を行う。

- ①遠隔の共創 芸術家1名に対し地域住民1名  
SNSでのコミュニケーションをメインに2週に1回以上対話を進める
- ②遠隔での共創 芸術家1名に対し複数の地域住民  
ZOOM会議やメールなど遠隔でおこなうコミュニケーション方法で対話を進める
- ③遠隔から始まる共創 芸術家多数に対し地域住民多数  
3月の公開期間中に地域の参加者と直接のコミュニケーションを図る

### 【これまでの主な活動内容】

6月～11月 オンラインミーティングの実施（より多くの地域の皆さんに参加していただけるよう内容を再考、プログラムの進め方や現況共有を行った）  
6/17 第1回実行委員会  
6/25-26 インビジブル、TheChainMuseum 来越、直江津地区街歩きリサーチ  
8/21 第2回実行委員会、プログラム「遠隔の共創」進め方の共有  
9/16 第3回実行委員会 テーマ、芸術家、地域住民、コミュニケーション手法等の決定  
10/15 第4回実行委員会 スケジュールの決定  
11/6-7 インビジブル来越、直江津地区街歩きリサーチ2回目、各取組の地域住民への説明

### 【今後の予定】

11月現在 芸術家と地域住民が共創（コミュニケーションし作品制作）  
1月中旬から2月末 制作+参加型作品設営期間  
3月 公開2週間（地域住民、芸術家などが直江津に集結）